



# 2017年3月期 第2四半期 決算説明会

パイオニア株式会社  
代表取締役 兼 社長執行役員  
小谷 進

2016年11月10日

## 本日の発表のポイント

### 1. 2017年3月期 第2四半期 連結決算実績:

- 第2四半期および上期は、売上、営業利益ともに前年同期を下回ったが、営業利益は計画をクリア
- 当期純利益は、上期では黒字化し、前年同期、計画ともに上回った

### 2. 2017年3月期 連結業績予想:

- 売上および営業利益は、計画どおりに進捗。下期には、一部、構造改革費用を見込むことから、通期の業績予想は据え置く

### 3. トピックス:

- 「安心・安全」をサポートする“マルチドライブアシストユニット”を発売

## 本日の説明

1. 2017年3月期 第2四半期連結決算
2. 2017年3月期 連結業績予想
3. トピックス

当プレゼンテーション中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報や将来の事象等の結果としてこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向や当社が製品等を供給する業界の動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)競争の激しい市場において、顧客から受け入れられる製品を継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)他社との合併、提携またはその他事業関係の成功、(6)資金調達能力、(7)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(8)製品に関する品質管理能力、(9)生産に必要な重要部品を継続して調達し得る状況、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

---

# 1. 2017年3月期 第2四半期連結決算

---

## 2017年3月期 第2四半期・上期： 連結業績概要

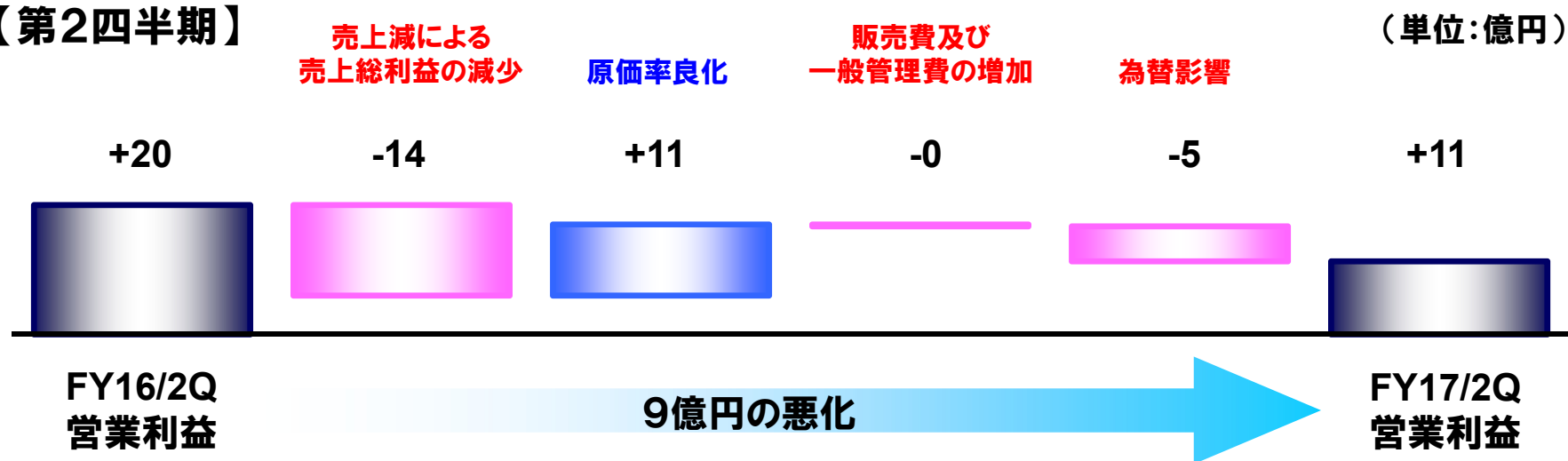
(単位:億円)

	第2四半期			上期			
	当四半期	前年同期	前年同期比	当期	前年同期	前年同期比	
売上高	951	1,136	83.7%	1,904	2,226	85.5%	
営業利益	11	20	56.7%	15	21	73.0%	
経常利益	8	20	40.3%	28	14	201.3%	
当期純損益*	-3	5	-	10	-20	-	
為替 平均レート	1USドル	102.43円	122.23円	-19.3%	105.29円	121.80円	-15.7%
	1ユーロ	114.28円	135.98円	-19.0%	118.15円	135.07円	-14.3%
1株当たり純損益*	-0.83円	1.42円	-2.25円	2.63円	-5.43円	+8.06円	
ROE	-1.6%	2.1%	-3.7%	2.4%	-4.0%	+6.4%	
1株当たり純資産	210.11円	266.80円	-56.69円				
ROA	-0.4%	0.7%	-1.1%	0.7%	-1.3%	+2.0%	

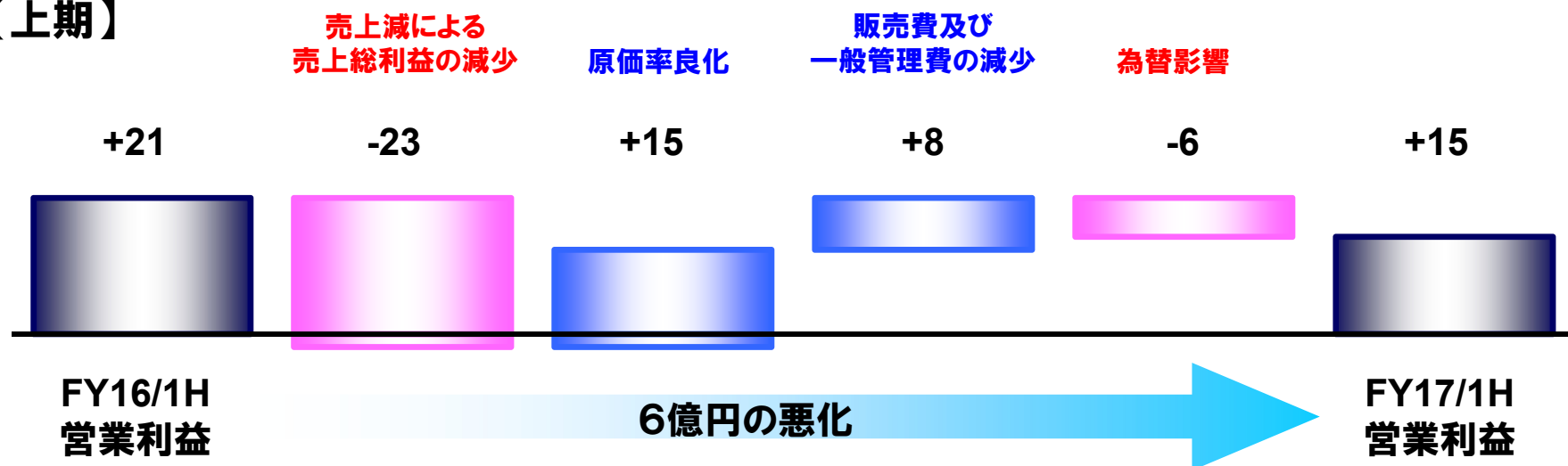
\* 親会社株主に帰属する当期純損益

## 2017年3月期 第2四半期・上期： 営業利益増減要因

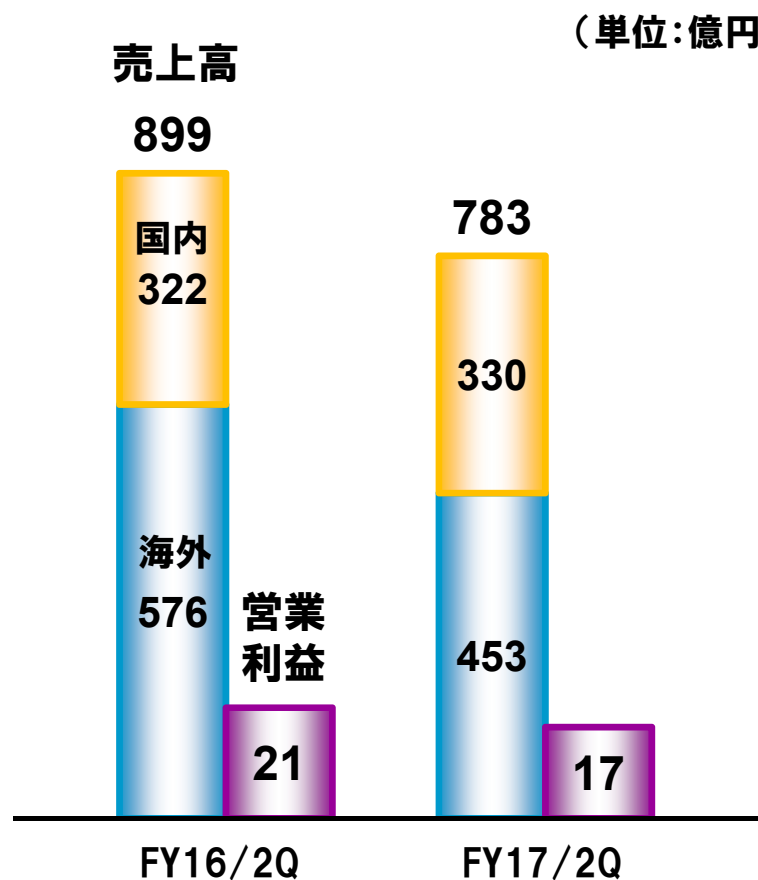
### 【第2四半期】



### 【上期】



## 2017年3月期 第2四半期：カーエレクトロニクス



< 売上高 > OEM比率 59% (前年同期 59%)

前年同期比	87% (国内 103%、海外 79%)
増収要因	市販カーナビゲーションシステム
減収要因	OEMカーオーディオ 市販カーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム

< 営業利益 >

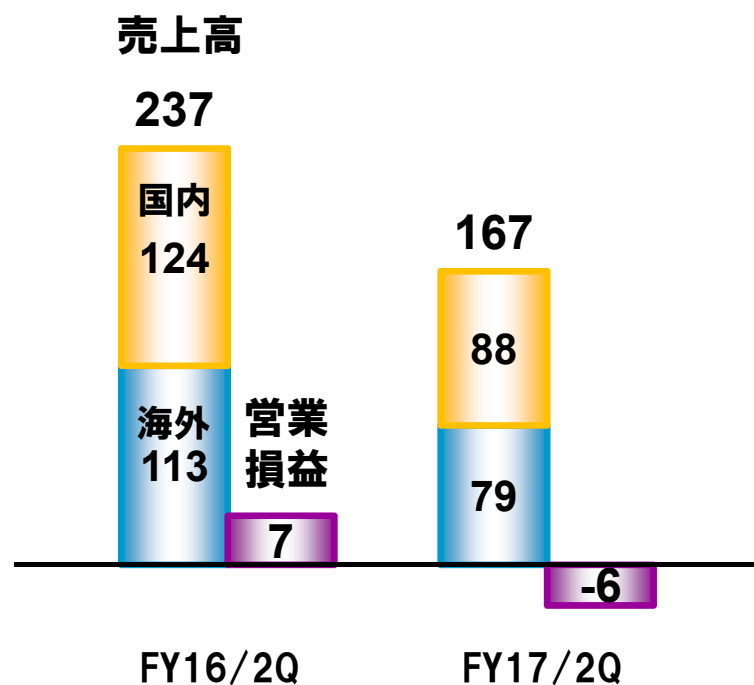
前年同期比	4億円の悪化
良化要因	原価率良化(+2億円) 販売費及び一般管理費の減少(+1億円)
悪化要因	売上減による売上総利益減少(-6億円) 為替影響(-1億円)

※ 当セグメントに含まれる主要製品:  
カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、  
カースピーカー、地図ソフト

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

## 2017年3月期 第2四半期： その他

(単位:億円)



### < 売上高 >

前年同期比	71% (国内 71%、海外 70%)
増収要因	有機ELディスプレイ
減収要因	光ディスクドライブ、FA機器

### < 営業損益 >

前年同期比	12億円の悪化
良化要因	原価率良化(+2億円)
悪化要因	売上減による売上総利益減少(-9億円) 為替影響(-4億円) 販売費及び一般管理費の増加(-1億円)

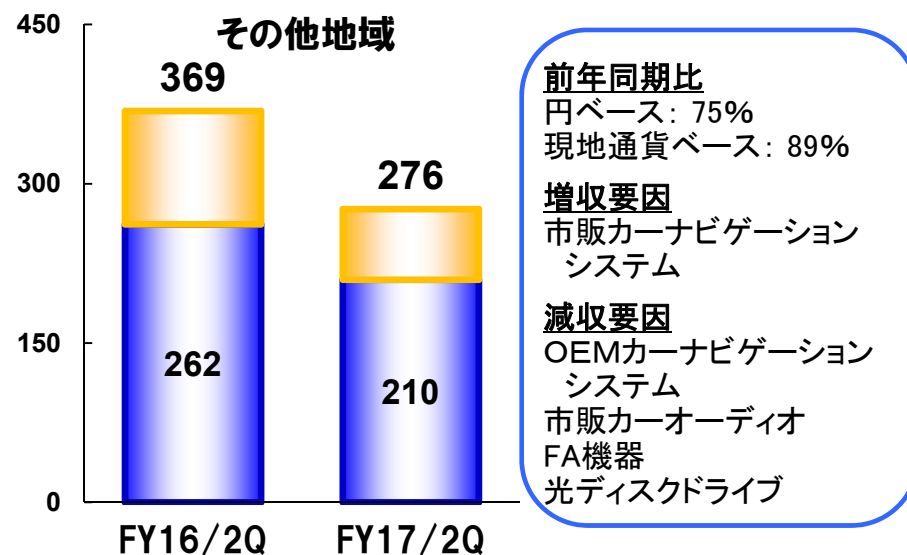
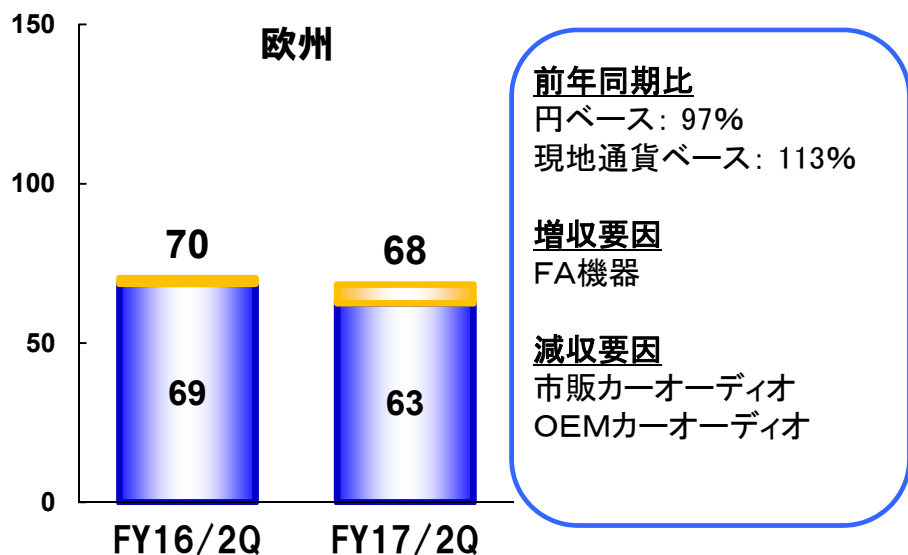
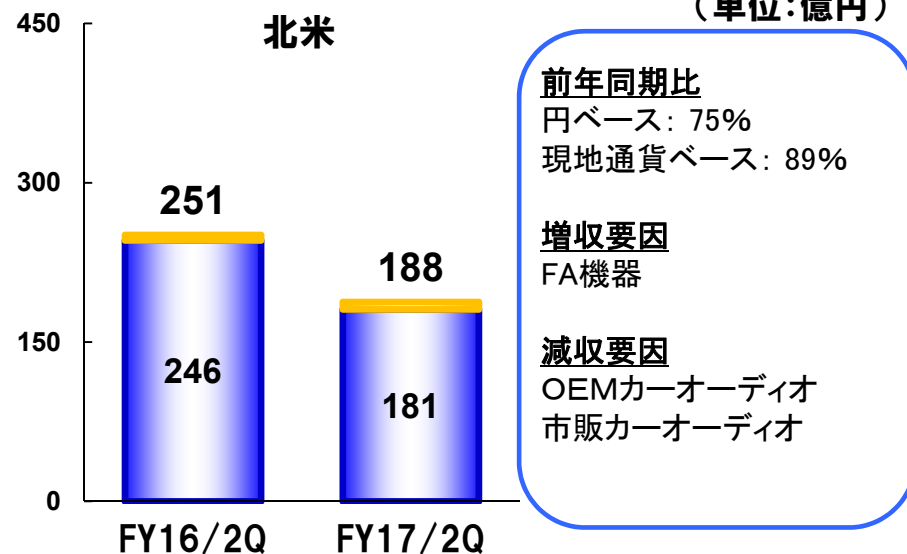
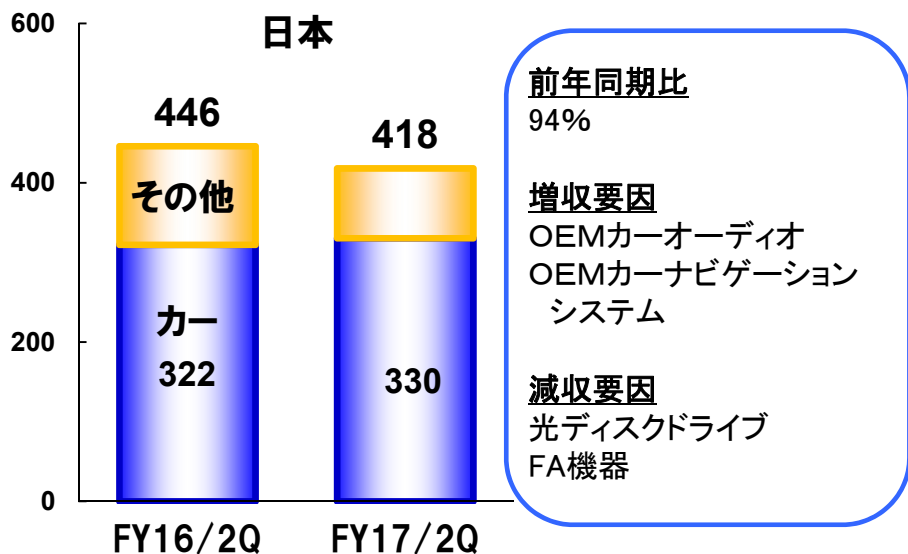
※ 当セグメントに含まれる主要製品：  
光ディスクドライブ関連製品、CATV関連機器、FA機器、電子部品、有機ELディスプレイ、DJ機器(生産・販売受託)、ホームAV(販売受託)

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。



## 2017年3月期 第2四半期：地域別売上高

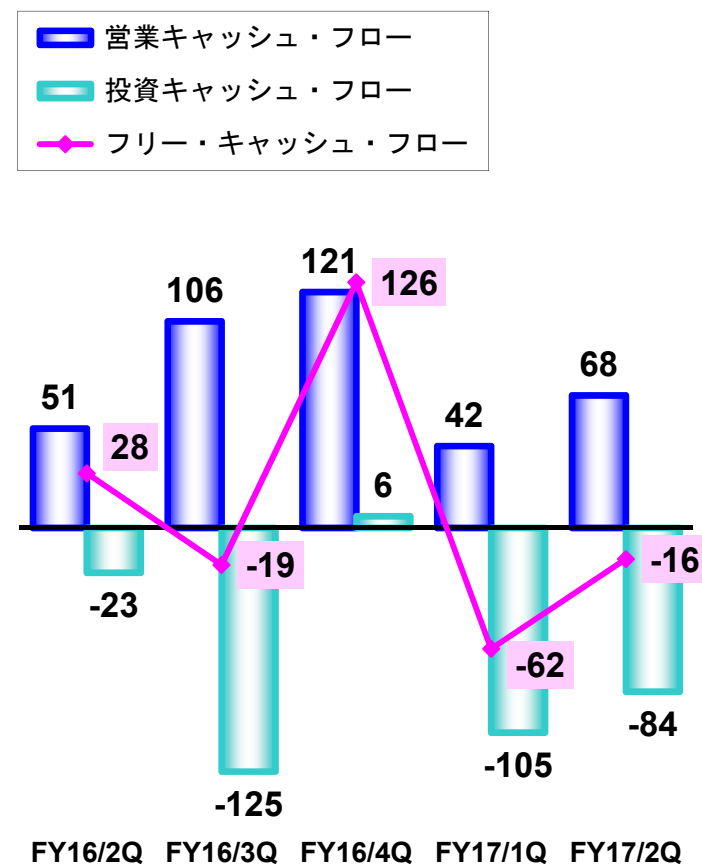
(単位:億円)



## 2017年3月期 第2四半期・上期：連結キャッシュ・フロー計算書

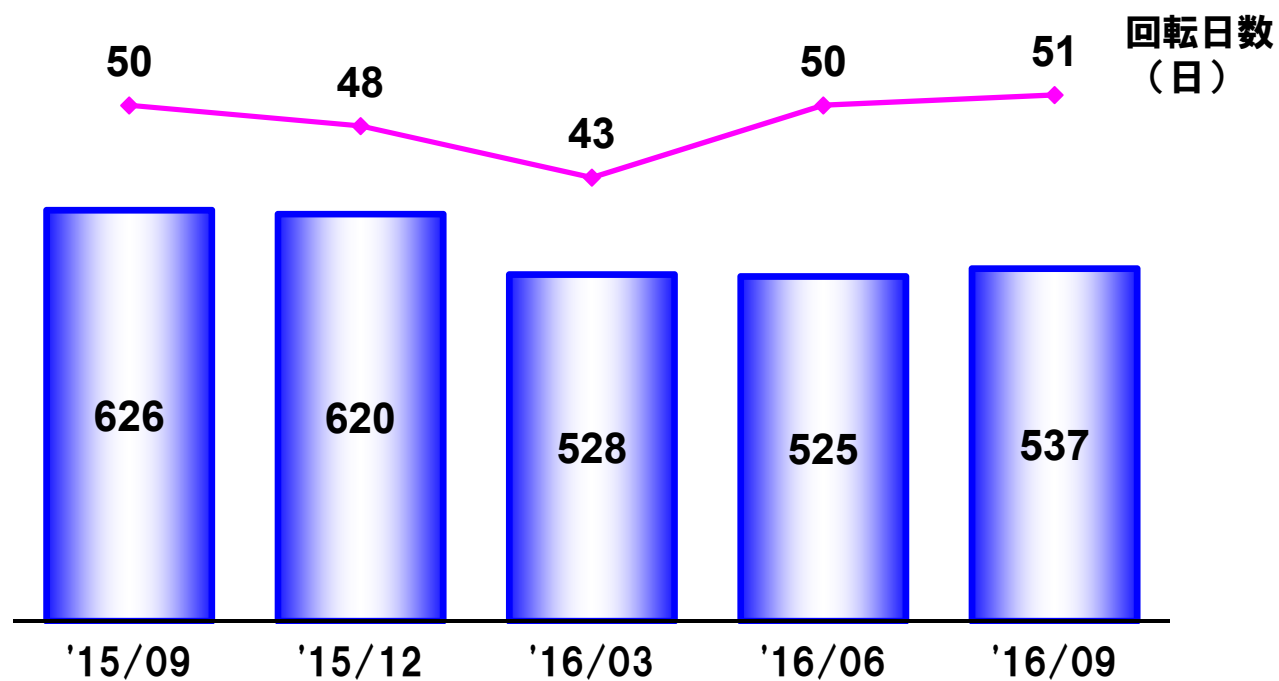
(単位:億円)

	第2四半期		上期	
	当四半期	前年同期	当期	前年同期
税金等調整前当期純利益	1	20	20	10
減価償却費	62	67	126	137
退職給付に係る負債の減少	-1	-8	-6	-12
売上債権の増減	-24	-42	63	-7
棚卸資産の増減	-18	26	-42	-19
仕入債務の増加	51	2	1	2
未払費用の増減	21	14	-4	-99
その他	-25	-29	-48	-46
営業キャッシュ・フロー	68	51	110	-34
投資キャッシュ・フロー	-84	-23	-188	-81
財務キャッシュ・フロー	53	-47	33	-56
現金・現金同等物の換算差額	-5	-12	-33	-7
フリー・キャッシュ・フロー	-16	28	-78	-115
現金・現金同等物の増減	32	-32	-78	-178
現金・現金同等物の残高	442	338		
NETキャッシュ残高	41	44		

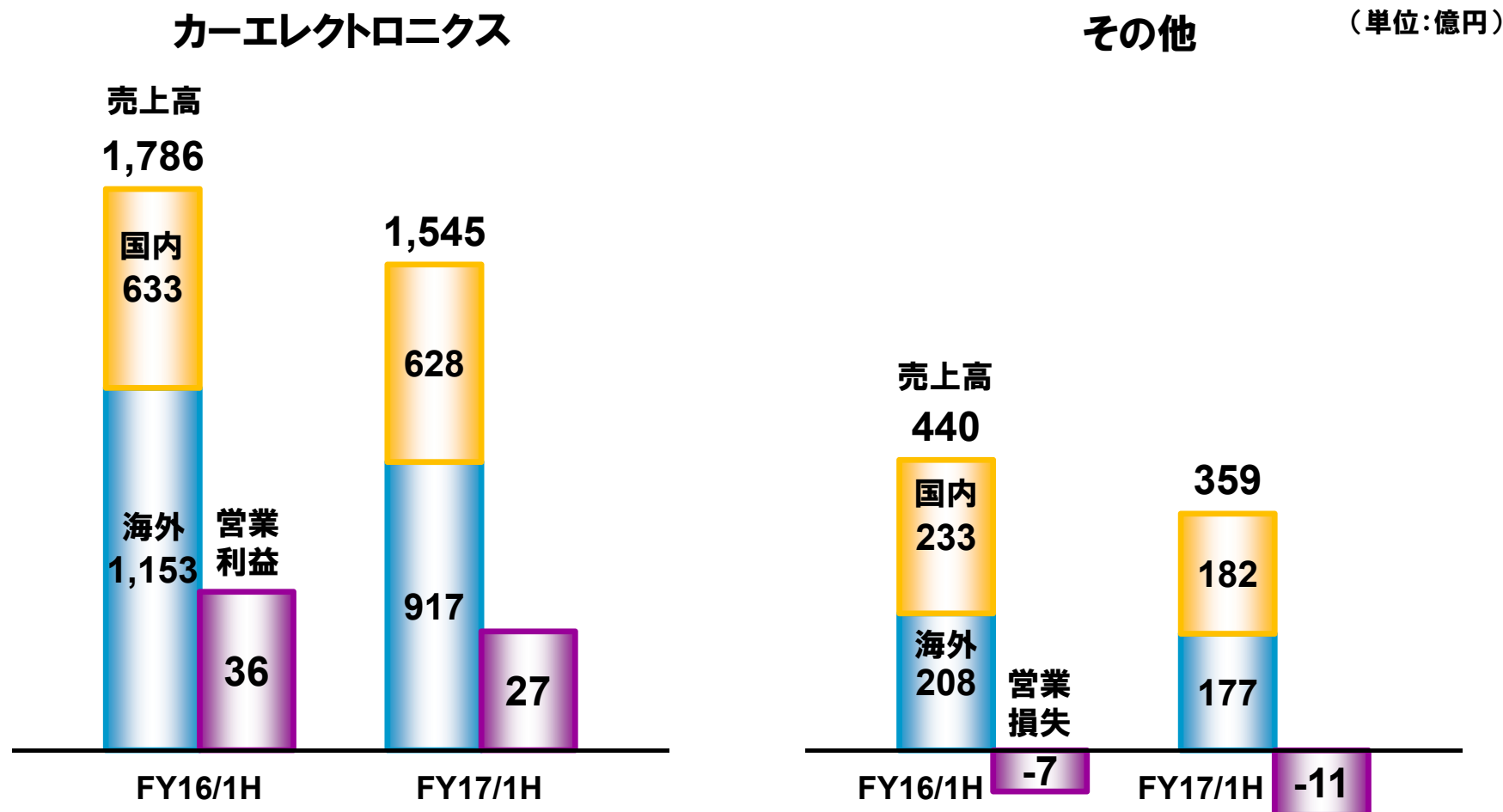


## 2017年3月期 第2四半期：棚卸資産

(単位:億円)



## 2017年3月期 上期 セグメント別売上高・営業損益



- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前年同期の金額についても組替表示しています。

---

## 2. 2017年3月期 連結業績予想

---

## 2017年3月期：通期連結業績予想

売上および利益に関する予想は、  
 前回発表(8月5日)から、変更ありません。

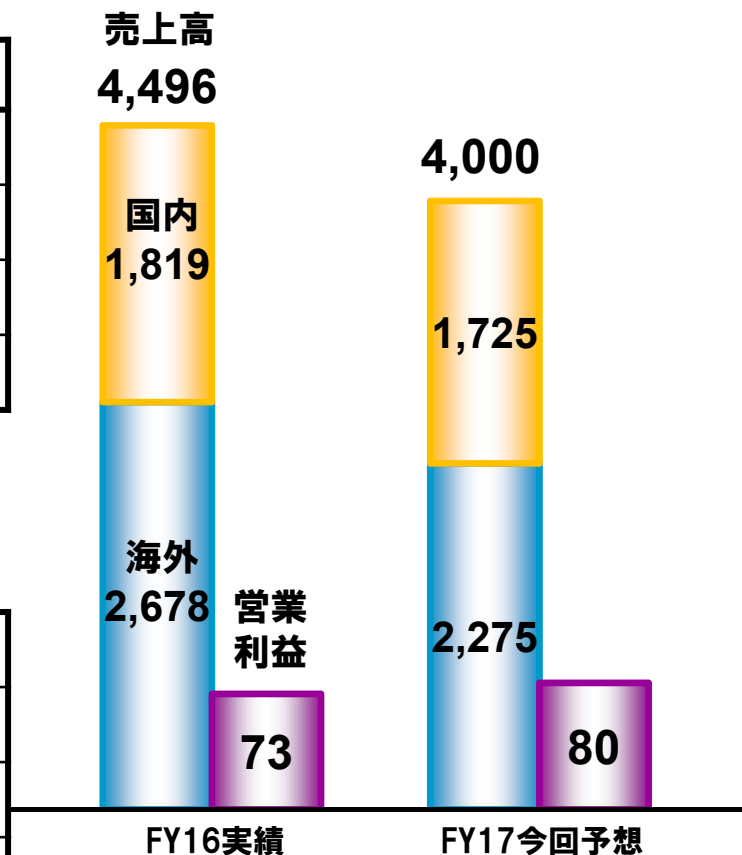
(単位:億円)

	今回予想	前期実績	前期比
売上高	4,000	4,496	89.0%
営業利益	80	73	109.5%
経常利益	70	73	96.6%
当期純利益*	10	7	136.8%

為替 前提レート	1USドル	105.14円	120.14円
	1ユーロ	116.58円	132.58円

1株当たり純利益*	2.72円	1.99円	+0.73円
ROE	1.2%	0.8%	+0.4%
1株当たり純資産	210.21円	233.32円	-23.11円
ROA	0.3%	0.2%	+0.1%

(単位:億円)

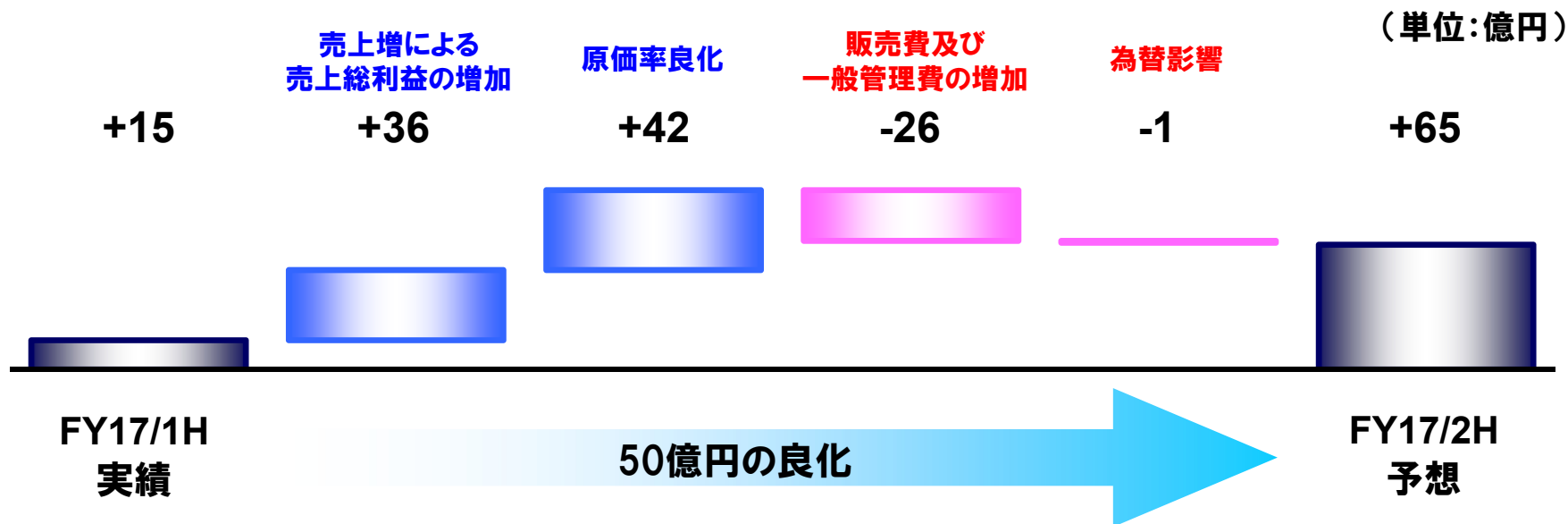


\* 親会社株主に帰属する当期純利益

注) 1. 残り6ヵ月間の予想レートは、1USドルは105円、1ユーロは115円を前提にしています。

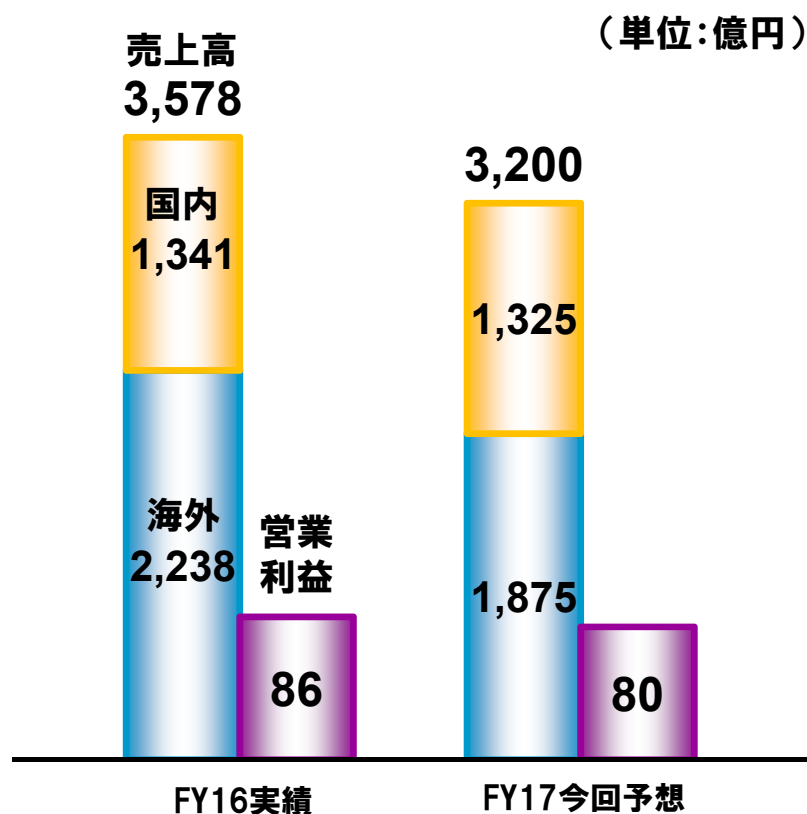
2. 1円の円高インパクト(残り6ヵ月間)は、売上高では、USドルは▲約9.9億円、ユーロは▲約1.1億円、営業利益では、USドルは+約0.2億円、ユーロは▲約0.7億円。

## 2017年3月期予想：下期 営業利益（上期との比較）



- カー市販は、カーオーディオ、カーナビゲーションともに、下期に新製品の市場導入が本格化し、増収を見込む。その他はFA機器等で増収を見込む
- 減価償却費は増加するが、売上増やカーエレクトロニクスのコスト削減効果により原価率が良化
- 売上増に伴い、販売費及び一般管理費は増加

## 2017年3月期予想：カーエレクトロニクス



### < 売上高 > OEM比率 58% (前期 60%)

前期比	89% (国内 99%、海外 84%)
増収要因	地図ソフト
減収要因	OEMカーオーディオ OEMカーナビゲーションシステム 市販カーオーディオ

### < 営業利益 >

前期比	6億円の悪化
良化要因	原価率の良化 (+29億円)
悪化要因	売上減による売上総利益の減少 (-20億円) 販売費及び一般管理費の増加 (-10億円) 為替影響 (-5億円)

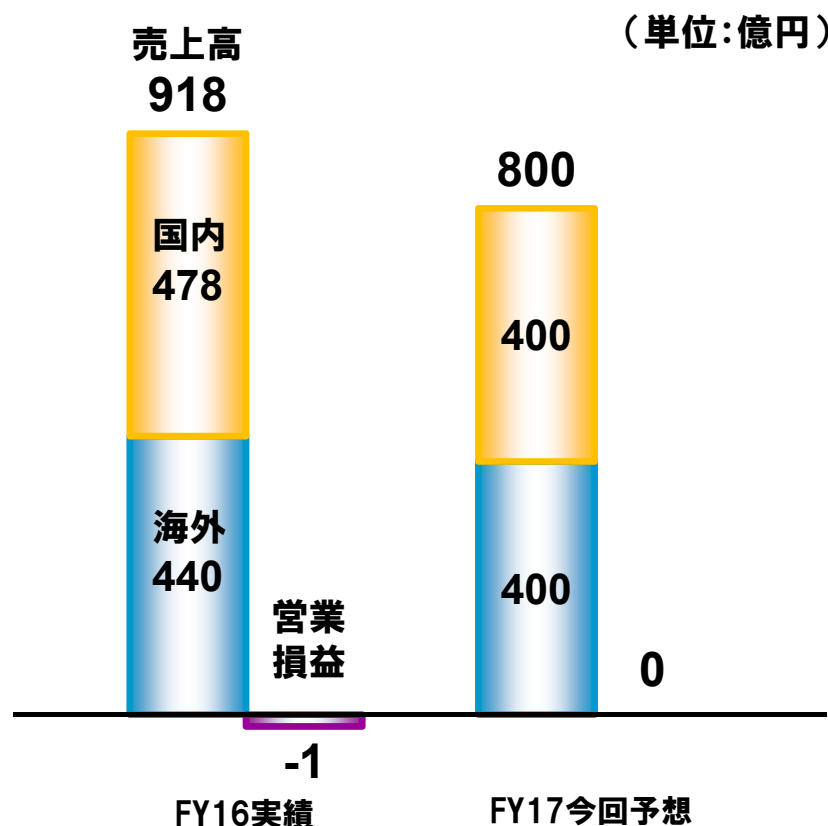
### < 出荷台数 > (単位:千台)

	FY16実績	FY17予想
市販カーナビ	691	675
市販カーCD	5,784	6,150
市販カーAV	1,432	1,460

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。



## 2017年3月期予想：その他



### < 売上高 >

前期比	87% (国内84%、海外 91%)
増収要因	FA機器
減収要因	光ディスクドライブ ホームAV(生産受託終了)

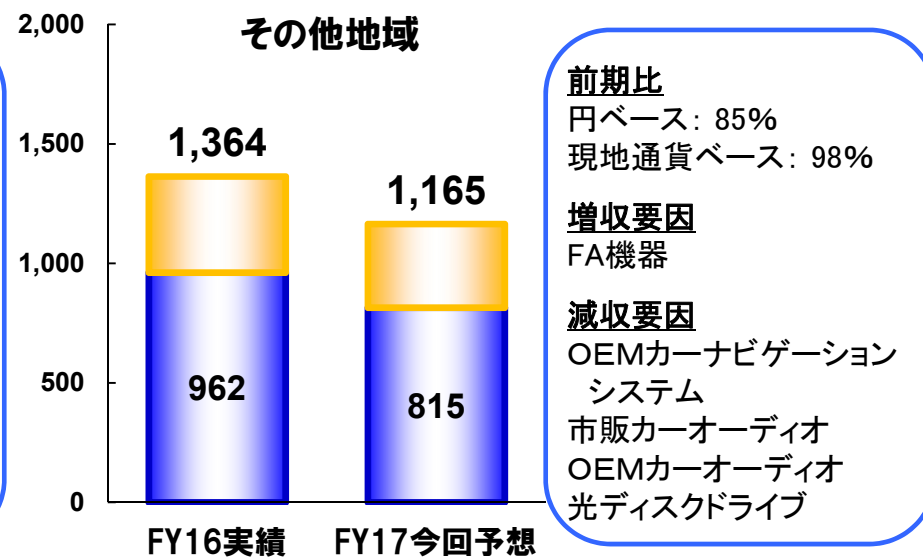
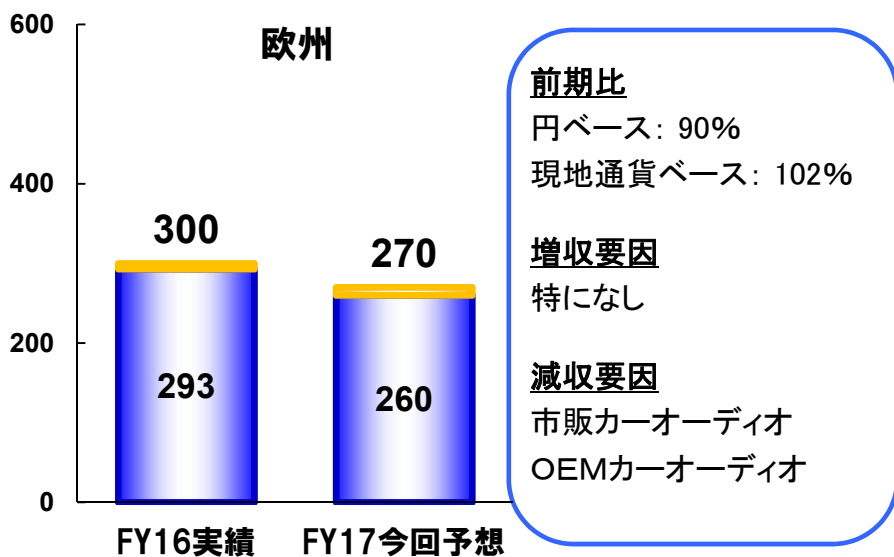
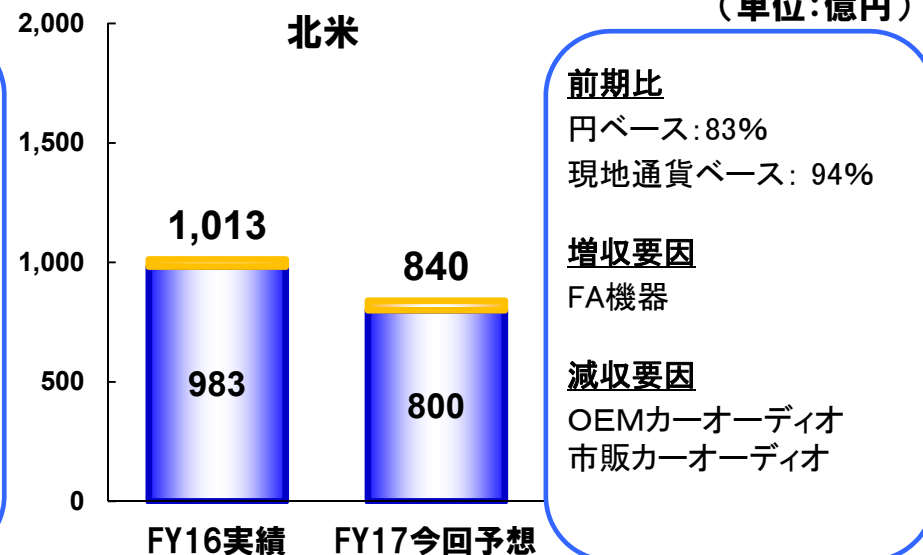
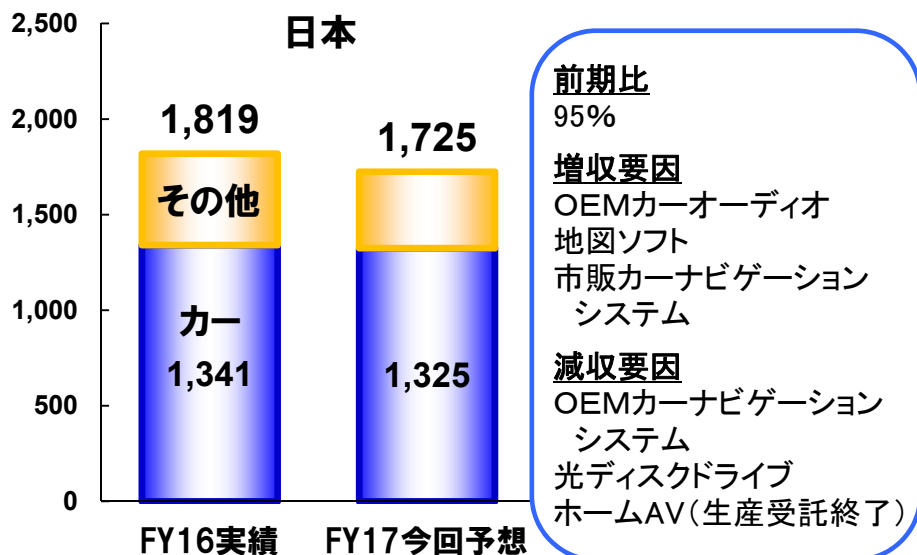
### < 営業損益 >

前期比	1億円の良化
良化要因	原価率の良化 (+19億円)
悪化要因	販売費及び一般管理費の増加 (-8億円) 売上減による売上総利益の減少(-6億円) 為替影響 (-3億円)

- 注) 1. セグメント別営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表示しています。  
 2. 従来「その他」に含まれていた地図ソフトを、当期から「カーエレクトロニクス」に変更しています。これに伴い、前期の金額についても組替表示しています。

## 2017年3月期予想：地域別売上高

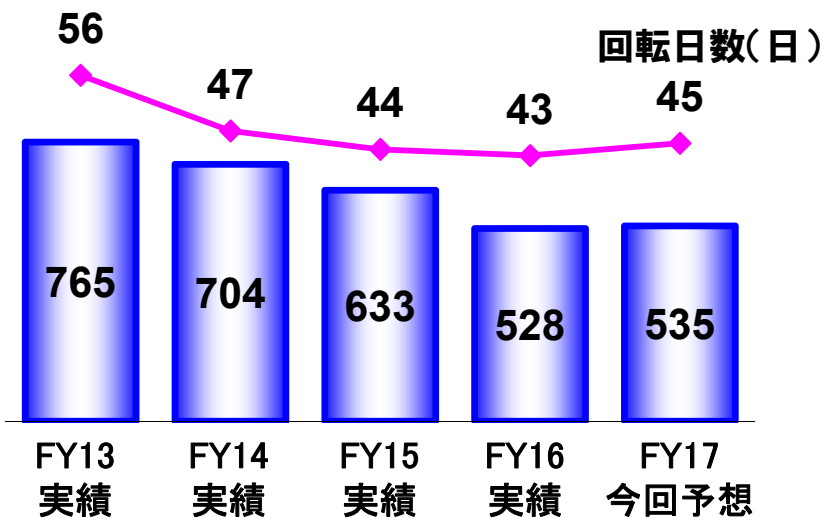
(単位:億円)



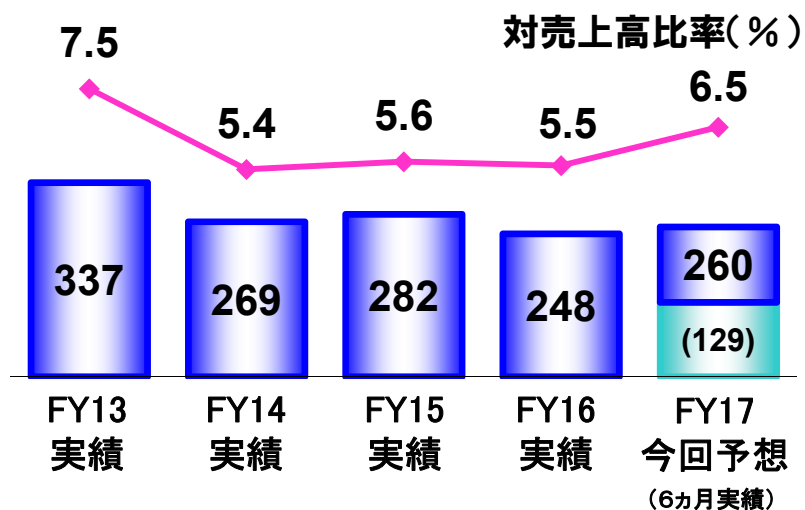
# 2017年3月期予想：棚卸資産、研究開発費、設備投資、減価償却費

(単位:億円)

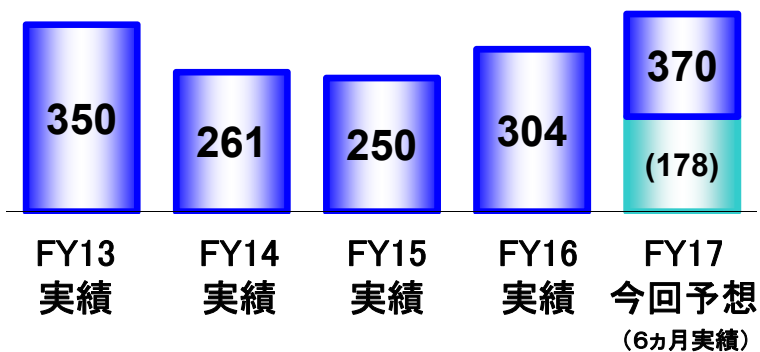
棚卸資産



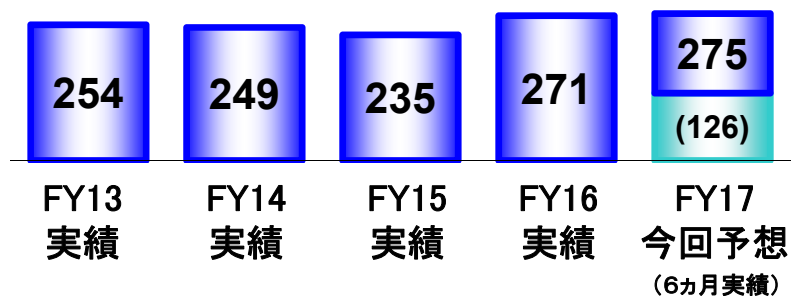
研究開発費



設備投資



減価償却費



## 2017年3月期予想： キャッシュ・フローおよび財務指標

(単位:億円)

	FY16実績	FY17今回予想	FY17前回予想 (参考)
営業キャッシュ・フロー	193	210	250
投資キャッシュ・フロー	-201	-370	-330
財務キャッシュ・フロー	34	15	-40
フリー・キャッシュ・フロー	-8	-160	-80
<b>純資産</b>	<b>905</b>	<b>810</b>	<b>820</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>29%</b>	<b>28%</b>	<b>28%</b>
<b>借入金</b>	<b>373</b>	<b>390</b>	<b>340</b>
<b>D/E比率</b>	<b>0.4倍</b>	<b>0.5倍</b>	<b>0.4倍</b>
<b>現金及び預金</b>	<b>520</b>	<b>340</b>	<b>370</b>

注) D/E比率=有利子負債÷(純資産-非支配株主持分)

---

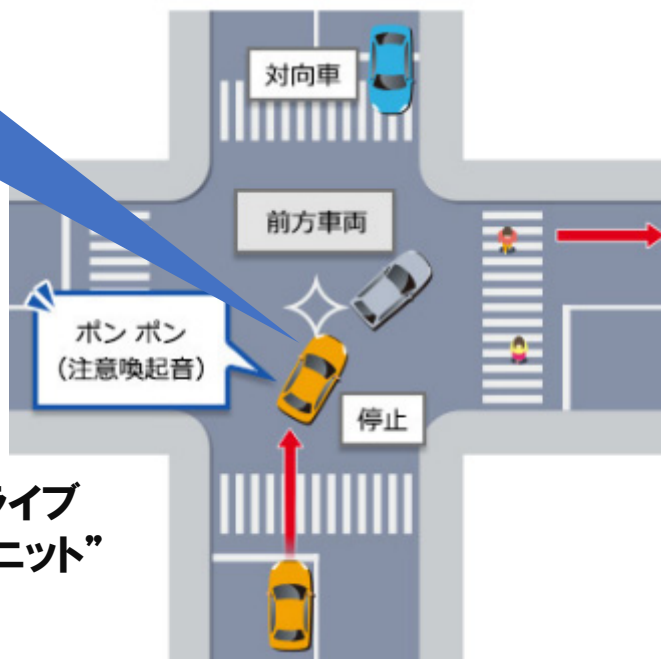
## 3. トピックス

---

## 「安心・安全」をサポートする“マルチドライブアシストユニット”を発売

“サイバーナビ”と連携し、独自の高度な画像認識技術やプローブ情報\*を活用し、「右折時つられ発進検知」、「前方車両接近警告」、「誤発進警告」などを効果音や画面表示でドライバーに注意を促し、事故を未然に防止

\*: プローブ情報: 対応車載機の走行情報をもとに生成された情報



### 右折時つられ発進検知

国家プロジェクトの知見と、急ブレーキが多いと想定される「ヒヤリハット地点データ」を活かし、右折交差点進入時の衝突事故を未然に防止するために、注意を喚起する



“マルチドライブ  
アシストユニット”  
ND-MA1

*Pioneer*